



尾久西だより

荒川区立尾久西小学校

発行日 平成30年2月1日

発行者 校長 末永 寿宣

No. 323 2月号

心を育てる～北海道広尾町ホームステイ事後交流を通して

校長 末永 寿宣

北海道広尾町ホームステイ事後交流歓迎会

今年度のホストファミリーの代表の方々6名様、広尾町長様はじめ広尾町役場の方々総勢11名が、本校を訪問してくださいました。

半年ぶりの再会となり、クラスごとに、子供たちと会食を楽しんでいただきました。給食のメニューは、広尾町昆布の佃煮と北海道産の鮭の「ちゃんちゃん焼き」です。ジャガイモのみそ汁のだしは、広尾町の昆布のおだしです。



▲思い出話につきない5年生(二期生)

一期生として初め

て広尾町の地を踏んだ

現6年生は、感謝の気持ちを込め、運動会で演技したマーチングバンドを披露しました。ホストファミリーの方々は、夢の架け橋から見学し、ハンカチで涙をふきながら、手を振っていました。

代表の子が「昨年度は大変お世話になりました！ありがとうございました！」と叫ぶと、6年生全員が最敬礼。ホストファミリーの6人の方々は、「会いたかったよー」と言いながら涙が止まりません。



▲最敬礼で

感謝の気持ちを伝える6年生(一期生)

二期生による歓迎セレモニーが

行われました。子供たちは、歌を歌い、手紙をホストファミリーの方々へプレゼントし、大変喜んでいただきました。子供たちも、もらい泣きしました。別れ際に、全員で記念撮影をし、いつかまた会おうと握手をして、再会を誓い合いました。

広尾町の皆様は、このまま羽田空港から、北海道に戻られました。

飛行機の中で、「こんなに感動したのは、今までにない」と感想を話されていたとのこと。今回の歓迎会を通じて、子供たちの心が着実に育っていることを実感しました。



▲歌とメッセージのプレゼントを送る二期生。顔を合わせると涙があふれます。



▲ホストファミリーの方々を囲み、笑顔で記念撮影



▲再会を誓い、ハイタッチをしてお別れ

尾久西小の子供一人一人が、お世話になった方への感謝の気持ちを忘れず、思いやる心を育むために、地域や保護者の方々のご理解とご協力をいただきながら、子供の可能性をさらに伸ばしてまいります。引き続き、ご協力をよろしくお願い申し上げます。